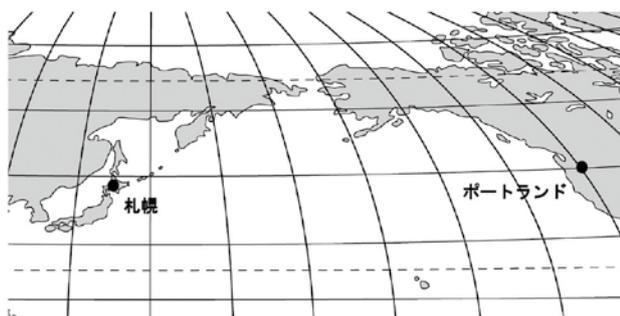


オレゴン州とポートランド市の概要

オレゴン州

【位置・地勢】

アメリカ西北部の太平洋岸に位置するオレゴン州。面積は約 25 万km²と広大で、本州及び四国を合わせた面積にほぼ等しく、全米第 10 位の大きさを誇る。北にはワシントン州、東はアイダホ州、南はカリフォルニア州及びネバダ州と接している。オレゴン州中央部や西寄りにはカスケード山脈が縦走している。海岸地帯北部の東側には広い肥沃な農地が広がっており、南部は低い山々とそれが囲む盆地やゆるやかな丘陵が連なっている。自然豊かで変化に富んだ美しい景観に恵まれた地域である。



【気候】

南北に連なるカスケード山脈により、大きく2つの気候に分かれる。山脈の西側では秋から冬にかけて雨が多いのが特徴。夏は最高気温で 25 度を超える程度で、湿度が低く過ごしやすい。冬でも氷点下になることはほとんどない温暖な気候と言える。雨の少ない 5 月～9 月が最も過ごしやすい時期と言える。また、東側は山脈が雨雲をブロックするため空気が乾燥し、晴天の日が大変多いのが特徴。夏場の最高気温は 30 度をはるかに超える。

【産業・経済】

オレゴン州は、従来、林業、農業、観光業等を主要産業とした。特に、同州は米国有数の森林地帯にあ

り、森林面積が州の約半分を占めるなど、林業が歴史的に重要な産業であった。一方、1980 年代中頃よりハイテク産業が急成長し、主要産業として大きな地位を占めるまでに至っている。また、同州は、多角化の進んだ農業生産地域の中心にあり、食品加工業はオレゴンの地勢と経済の優れた立地を背景に高い評価を得ている。

オレゴン州にとって日本は昔から重要な貿易相手国であり、その関係は現在も続いているが、従来からの貿易品として代表的であった小麦やその他の農水産物品、木材や住宅関連資材に加え、近年では機械類や化学製品が伸びてきている。

【観光】

オレゴン州は、自然豊かなアメリカの中でも、最も美しい州の一つと言われている。オレゴンコースト、フッド山、コロンビア渓谷など、ダイナミックな海岸線、一年中白い雪をいただく壮大な山々、青い空に優美にそびえ立つ岩々、どこま



マルトノマの滝

でも連なる渓谷という豊かな自然で有名な観光地が多い。また、ゴルフ、スキー、釣りなど、豊かな自然を生かしたアウトドアのアクティビティーも人気がある。

【時差】

日本との時差は 17 時間だが、3 月第 2 日曜日から 11 月最終日曜日まではサマータイムに入り、16 時間となる。日本時間から 17 時間（16 時間）マイナスするとオレゴン州の時間がわかる。

【オレゴン小史】

16世紀中頃、現在のオレゴン州、ワシントン州、アイダホ州、カナダのブリティッシュ・コロンビア州を含む大陸北西部一帯は「オレゴンテリトリー」と呼ばれていた。本格的な西部開拓が始まったのは1803年頃。当時のトーマス・ジェファソン大統領の命により、オレゴン探索のために開拓した小道「オレゴントレイル」は、その後、オレゴンと開拓民を結ぶ重要な街道となった。長い過酷な旅を経て、オレゴンにたどり着いた開拓民には無償で豊穡な土地が与えられたことから、人々はオレゴンを「西のエデン」と呼び、多くの人が移住を決意した。

1818年にはイギリスとアメリカの共有領土となる。1840年代に入ると、アメリカ人が組織的に入植。この頃からアメリカはイギリスに領有権放棄を求め、1846

年には両国でオレゴン協定を締結。その後、アメリカの準州となり、1859年2月14日、正式な州に昇格した。

1860年代には牧畜、漁業、農業、林業が発展。川を利用して太平洋へ出る交通が開かれるようになり、流通も盛んになっていった。1870年代には大陸横断鉄道の開通とともに産業が発達。1883年にはポートランドまで鉄道が開かれ、魚、穀物、木材をはじめ数多くのオレゴン産物が州外に出荷されるようになった。1930年以降にはダムが建設され、灌漑用水と低コストの電力が供給されるようになり、オレゴンの産業と人口増加は急速に進んだ。

近年のオレゴンはフロンティア精神と自然を愛する心を受け継ぎ、都市部の便利な生活と豊かな自然との共存を大切に考える魅力的な州として、さらなる発展を続けている。

【オレゴン州のプロフィール】

- 面積 約25万km²
- 人口 約420万人（2020年）
- 連邦加盟 1859年2月14日（33番目）
- 州都 Salem（セーラム）
- 主要都市 ポートランド、セーラム、ユージン、グresham
- 州のモットー She Flies with Her Own Wings（1987年採択）
- 州の愛称 Beaver State（ビーバーステート）
- 姉妹県 富山県（このほか、日本の都市とオレゴン州の都市との間で、26都市（2025年6月現在）が姉妹都市提携を締結している親日的な地域）
- 州の花 Oregon Grape（オレゴングレープ、米国北西部海岸地方産のヒイラギナンテンに類する常緑灌木。黒青色の小さな実をつける）
- 州の木 Douglas Fir（ダグラスモミ、北米西部産松科の大木で高さ10mに達する。材質良好で日本ではアメリカ松と称し、建築資材として輸入していた）
- 州の動物 American Beaver（ビーバー）
- 州の鳥 Western Meadowlark（ニシマキバドリ）
- 州の魚 Chinook Salmon（チヌークサケ、太平洋岸で獲れる大型のサケ。キングサーモンと同種）

ポートランド市



ポートランド市街地

オレゴン州最大の都市であるポートランド市は、エコロジーやリサイクルの先進都市であり、公園、自転車専用レーン、橋、自然と文化が調和する美しい環境都市として知られている。

【位置・地勢】

アメリカ西海岸の貿易、商業の重要な拠点であるポートランド市はオレゴン州北西部に位置し、緯度は稚内市とほぼ同じ。ウィラメット川とコロンビア川の合流点に広がる港湾都市で、市の大部分が平地である。また、ポートランド市のシンボリック存在のフッド山（標高 3,425 m）はポートランド市内から車で 1 時間半くらいの場所に位置する。

◆北緯 45° 31'（札幌 43° 03'） 西経 122° 40'

◆面積 約 346km²

【気候】

夏は雨が少なく快晴が続く。冬は降雨量が多く、晴天が少ない。雪はほとんど降らない。この温暖な気候と降雨量が肥沃で広大な森林と豊かな緑地帯を育てている。平均気温は1月で約 3℃、7月で約 21℃である。また、年間降雨量は 900mm 程度である（札幌は約 1,100mm）。

【市名】

市名の由来にはユニークな話が残されている。合衆国東部のメイン州ポートランドから来たペティグロブと、マサチューセッツ州ボストン出身のラブジョイとが、それぞれの出身地の名前をつけることを主張。意見が分かれ、銅貨を投げてその裏表で決めることになり、ペティグロブが勝ち、ポートランドに決まったと言われている。現在の市街地にあたる場所が区画整理されたのは 1845 年で、1851 年には市制が敷かれ、最初の選挙が行われた。

【市章】

中央の女神は貿易を表し、海神ネプチューンの三叉戟（ほこ）を持ち、右手側の船と共に港で栄える町の将来を示している。左手で指し示した麦束（小麦）



ポートランド市の市章

と森林（木材）は、今でもポートランド市の重要な輸出品物である。1878 年に最初の市章が制定され、その後数回の改訂を経て、2005 年に現在の市章が制定された。

【歴史】

1804 年にニューイングランドから来たサケ捕獲調査隊が、港としての可能性を発見。1806 年にはウィリアム・クラークとメリーウェザー・ルイスの探検隊が到着したが、実際に定住者が現れたのは 1829 年で、フランス系カナダ人と言われている。

【人口】

オレゴン州最大の都市で、人口は約 63 万人（2023 年現在）。ワシントン州バンクーバーを含めたポートランド都市圏の人口は 240 万人を超える。

【行政】

選挙によって選ばれる市長、12名の市議会議員、1名の市監査役と、市長が任命する市政管理者による、市長・議会制（2025年より。2022年の憲章改正により委員会制から変更。）

【観光】

ポートランドは「バラの都市」という愛称を持つ、全米でも指折りの美しい都市。歴史的名所や博物館、森林公園、庭園など、見どころは多彩。また、オレゴン州及びポートランド市は消費税（売上税）がかからないため、ショッピングも盛んである。主な観光名所は以下のとおり。

- ◆ バラ祭りとバラ園（インターナショナル・ローズ・テスト・ガーデン）……毎年6月頃に全米でも有数の祭りである「ポートランド・ローズ・フェスティバル（バラ祭り）」が開催される。また、バラ園では春から秋にかけて400種類以上のバラが咲き競う。
- ◆ ポートランド日本庭園……1963年開園。平庭、枯山水などの庭園様式で構成されている本格的な日本庭園。
- ◆ ポートランド美術館……世界各国から収集した絵画、彫刻、写真などを展示・所蔵。
- ◆ オレゴン動物園……約200種の動物をより自然に近い環境のなかで観察することができる。
- ◆ オレゴン科学産業博物館（OMSI）……家族で楽しめる大きな科学博物館。アトラクションも豊富。
- ◆ ピトック邸……オレゴン州最大の日刊新聞オレゴン紙の創始者ヘンリー・ピトック氏が1914年に建てたルネサンス様式の豪邸。

【フード&ドリンク】

太平洋とカスケード山脈に囲まれたポートランドは、新鮮な海の幸、山の幸に恵まれた土地。サケ、エビ、カニ、ホタテなどを使ったシーフード料理は特に人気が高い。ビールやワインの醸造も盛んである。特に、ビールは長い歴史のあるブリュワリー・パブ（パブを備えた醸造所）が多数ある。

地元産のオーガニック素材にこだわる消費者が多く、マーケットやレストランでは地元食材がリーズナブルな

価格で消費者に提供されている。ローカルコミュニティにできる限りの利益還元を優先する持続可能な社会に配慮した取組を実践している。

【ショッピング】

数多くのデパート、専門店をはじめ、大規模なショッピング・モール、住宅地に隣接したショッピング・センターなど、多様な商業施設がある。また、3月からクリスマスまでの土日で開催されるフリーマーケット「サタデーマーケット」はポートランドの名物。手作りのアート&クラフトを中心に多くの露店や屋台が並び、毎週末たくさんの人で賑わう。



ポートランド市のショッピング街

【イベント】

毎年6月頃開催される「ポートランド・ローズ・フェスティバル（バラ祭り）」は、100年以上の歴史を持つポートランド最大のイベント。アメリカ国内外から約200万人もの見物客が訪れる。伝統的なバラのショー、エアショー、熱気球クラシック大会など、多数の関連イベントが開かれるが、一番のハイライトは花のパレードとして全米でも有数の規模を誇る「グランド・フローラル・パレード」。美しい花とハイテク技術を駆使した山車の行列は、ポートランドの初夏の風物詩。

また、9月～10月に行われる「ポートランドマラソン」は、ウォークからフルマラソンまでと競技内容が幅広く、多くの市民に愛されているマラソン大会だ。



ローズ・フェスティバルでのパレード

【交通】

◆電車とバス／トライメットが運行するマックス (MAX) の愛称で親しまれている路面電車LRT(ライトレール・トランジット) は、1986年に最初の路線が開通した。現在、ポートランド市中心街から東のグレシャム、西のヒルズボロを結ぶ「ブルーライン」、市中心街から西のビーバートンとポートランド国際空港を結ぶ「レッドライン」、市中心街からポートランド北部に位置するエキスポセンターに向かう「イエローライン」、市中心街からポートランド南東部に位置するクラカマス・タウンセンターに向かう「グリーンライン」及び市中心街から南部のミルウォーキーに向かう「オレンジライン」の5本の路線を有している。また、同じくトライメットが運行する路線バスは、市内及びその近郊に多くの路線を有し、市民の日常の移動手段として利用されているとともに、市内の見どころにアクセスする際にも便利な乗り物である。この他にも、ポートランド市が運行する路面電車 (Street Car) もあり、トライメットと同じ料金システムとなっている。



ポートランド市内を走るマックス

- ◆自転車／ポートランドは全米で最もサイクリングに適した街に選ばれたこともある自転車利用者に優しい街である。例えば、自転車専用車線の幅が広く、車道との境界もはっきりしており、バスや電車にも自転車を持ち込むことができる。
- ◆ポートランド国際空港／カナダ、メキシコ、ドイツなどとの間で国際線が運航している。
- ◆鉄道／ダウンタウンの北側にあるユニオン・ステーションにアムトラックの3種類の長距離列車が発着している。1896年に建てられたユニオン駅は45mの時計塔で有名。
- ◆高速道路／多数の州を貫通する巨大な高速道路5号線と84号線はポートランドで交わる。5号線については、北はカナダから南はメキシコまで、シアトル、サクラメント、ロサンゼルス、サンディエゴの各都市を経てアメリカ西海岸を結ぶ。84号線はポートランドが起点となり、ソルトレイクシティを経由して中西部、東海岸へと延びている。

【港湾】

ポートランド港は太平洋岸から約170km内陸に位置する西海岸最大級の港である。1980年に千葉港と姉妹港提携を締結した。

【ポートランドの姉妹都市】

- 1959年 札幌（日本）
- 1983年 グアダラハラ（メキシコ）
- 1987年 蔚山（大韓民国）
- 1987年 アシュケロン（イスラエル）
- 1988年 蘇州（中華人民共和国）
- 1988年 高雄（台湾）
- 1988年 ハバロフスク（ロシア）
- 1991年 ムタレ（ジンバブエ）
- 2003年 ポローニャ（イタリア）

【ポートランドの友好都市】

- 2022年 リヴィウ（ウクライナ）

【関連ホームページ】

- ◆ポートランド市（英語）
<https://www.portlandoregon.gov/>
- ◆ポートランド観光協会（日本語あり）
<https://www.travelportland.com/>
- ◆アメリカ合衆国国勢調査局（英語）
<https://www.census.gov/>



市役所新庁舎の女神像